

令和3年度
私費外国人留学生選抜試験問題

経済学科

小論文 (RK)
(英文読解を含む)

令和3年2月7日(日)
9時30分～10時50分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は、表紙を除いて6枚あります。ほかに解答用紙3枚、下書用紙3枚が配付されています。
3. 解答にかかると前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「,」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じマスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

3 RK

- 1 次の文章は、山口慎太郎著『「家族の幸せ」の経済学 データ分析でわかった結婚、出産、子育ての真実』（光文社新書、2019年）の一部である。この文章を読み、設問に答えなさい。

著作物引用のため非公表

著作物引用のため非公表

著作物引用のため非公表

注1 OECDとは、Organisation for Economic Co-operation and Developmentの略称で、経済協力開発機構のことである。

注2 キャリアとは、職業上・技能上の経験・経歴のことで、個人が職業能力を作り上げていくことをキャリア形成という。

著作物引用のため非公表

図表 1 男性の育児休業取得率は増加傾向ながら
低水準にとどまる

注：2011年度の[]内の割合は、岩手県、宮城県及
び福島県を除く全国の結果。

出所：山口（2019, 143頁）。

図表 2 男性の育児休業取得率の国際比較

出所：図表 1 に同じ, 145 頁。

出典：山口慎太郎著『「家族の幸せ」の経済学 データ分析でわかった結婚, 出産, 子育ての真実』（光文書新書, 2019年）142-153頁。なお、出題にあたって、縦書きを横書きとし、原文にあった小見出し及び脚注を省き、図表番号を改め、ゴシックを外し、常用漢字以外の文字にルビをふった。また、注 1, 注 2 を追加した。

設問

問 1 ノルウェーにおいて父親の育児休業取得はどのように普及したか、300字以内でまとめなさい。

[配点 20%]

問 2 日本の現状を踏まえたうえで、日本で父親の育児休業取得を進めるためにはどうすればいいか、あなたの考えを300字以内で述べなさい。 [配点 40%]

3 RK

2 次の文章は、日本の人口問題に関する *The Japan Times* の記事の一部である。以下の英文を読んで、以下の設問に答えなさい。なお、(…) という表示は引用文を省略したことを示す。

著作物引用のため非公表

著作物引用のため非公表

※ 原文の Foundation を修正している。

出典 : « The economic challenge of Japan's aging crisis », *The Japan Times*, November 19, 2019.

設問

- 問 1 本文にもとづき、日本の高齢化はどのような経済問題を引き起こしているか説明しなさい。
(日本語 150 字以内)。 [配点 20%]
- 問 2 本文にもとづき、人口減少の影響を今後どう緩和していくべきか説明しなさい。
(日本語 150 字以内)。 [配点 20%]